

地域振興に向けた 固有の地域資源の活用

平成 26 年 9 月 16 日
佐久地方事務所

1 提案にあたって

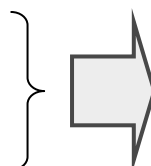
1-1 現状・背景

- 長期的な人口減少
- 劣化する社会資本
- 変化する環境
- 使われていない優れた地域資源
- …… 地域の持続性に懸念
- …… 設備の老朽化、維持コストの増大
- …… 再生可能エネルギーへの注目
地球温暖化対策の必要性
化石エネルギー利用コストの増嵩
- …… カラマツ、水、気候、地勢

1-2 今後の地域振興の方向性

使われていない地域資源を活用しながら、

- 視点 i 新しい産業を創出
- 視点 ii 社会資本の維持コストを低減
- 視点 iii 既存産業の生産性を向上



地域の維持

雇用の創出

1-3 佐久地域固有の地域資源

(1) 有形の地域資源

- ・カラマツ等の森林資源 (燃料として、安価・低水分な特性)
- ・位置エネルギーを伴った水 (延長が長く、高低差のある様々な水路)
- ・地中熱 (外気温が低く効果が高い)

(2) 無形の地域資源

- ・地域に暮らす人々の営み
- ・地域の歴史

1-4 固有の地域資源を更に活用する上での課題

人々の意識

ファイナンス
(資金調達)



地域資源を活用する会議を設立し、ムーブメントを起こしながら、人々の意識を変え、資金調達についても検討していくことが必要

2 事業内容

2-1 佐久地域資源活用会議の設立

佐久地域資源活用会議

目的

- ・地域資源を活用し、ムーブメントを推進

構成

- ・佐久地方事務所、意欲ある市町村・NPO・金融機関・事業者等

<部会組織 (地域資源毎に活用策を検討し、提案) >

木質バイオマス
(佐久林業連絡会議)

小 水 力

地 中 熱

「無形の地域資源」系

ファイナンス . . .

【H27 年度事業費】

1,550 千円 (一般財源)

内訳)

シンポジウム開催費用 : 550 千円

先進地視察費用 : 1,000 千円

2-2 事業化支援（成功事例の積み重ね）

〔木質バイオマス〕

- 「佐久林業連絡会議」（H24 年度設立、地方事務所・市町村・林業関係事業者・森林組合等により構成）を部会として位置付け
- チップ材料としてのカラマツ、チップの燃料供給システム等について調査・試験を実施
- H25 年度に実施した現地調査（18 施設）、導入診断（4 施設）の結果を踏まえ、順次ウッドボイラを導入
 - ・H26 年度 佐久総合病院本院
 - ・H27 年度 池の平ホテル、トンボの湯、あぐりの湯と調整して導入

【H27 年度事業費】 70,000 千円程度
（関係事業者による事業）



〔小水力〕

- 「農業用水を活用した小水力発電部会」を設置し、小水力発電の有望な候補地について、土地改良区が民間企業や行政と連携し、発電施設の建設をめざす。
- 平成 27～28 年度は、「案件形成事業」を活用し、初期投資、維持管理費、発電能力の算定を行い、収支見込を検討
 - ・H27 年度 千ヶ滝湯川土地改良区等 3 か所
 - ・H28 年度 佐久平土地改良区
- 企業と連携して最適な事業形態を選択し、事業化を推進するため、「小水力発電マッチング事業」を要望

【H27 年度事業費】 6,100 千円
（国庫 6,000 千円、県費 100 千円）



〔地中熱〕

- 平成 28 年度当初の開園をめざす川上村統合保育所の新庁舎への地中熱を活用した冷暖房システムの導入を、部会として支援する。
- 当該システムは、地下水と外気温の温度差を利用してヒートポンプを回し、冷暖房を行う、川上村固有の外気温の低さを活用したシステム

【H27 年度事業費】 260,000 千円程度（村事業、一部グリーンニューデール基金活用を申請中）

2-3 今後の取組の広がり

○無形の地域資源の活用について

- 無形の地域資源である地域の人々の暮らし、歴史を交流人口拡大に活用

例 1 佐久地域は地域医療が発達するとともに、福祉・介護も充実。佐久大学・信州短期大学といった高等教育機関も存在

⇒ 健康長寿を実現した「地域の人々の営み」を地域資源として活用
e x) 東アジア諸国政府・自治体関係者向けの視察研修旅行の受入

例 2 地域の歴史を掘り起こし、観光地と観光地を結びつける

○ファイナンスのあり方について

- 事業化を進める段階で浮かびあがる資金調達の課題を解消する方法を検討

例 市民ファンドの創設

- ・市民運動としてムーブメントを起こす。
- ・市民出資によるエネルギー自治の実現
- ・森林維持費用の「外部化」のあり方

3 費用等

3-1 費用

【H27 年度事業費】

①佐久地域資源活用会議の設立	1,550 千円
②具体的な事業	
木質バイオマス	70,000 千円 (関係事業者による事業)
小水力	6,100 千円
地中熱	260,000 千円 (村事業、一部 GND 基金活用を申請中)
	337,650 千円 (県事業費 1,650 千円 + α)

3-2 成果目標

- ・提案に係る事業を実施することで、しあわせ信州創造プラン 佐久地域編の達成目標の上積みが可能

新規自然エネルギー事業数 (H29 年度) 10 事業 (現行) → 15 事業

視点 i ~ iii (P1) に沿った
事業により上積み